

令和6年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

令和6年3月29日

令和6年度の基本方針

令和6年度は、3カ年計画（2022～2024年度）の3年目として、その諸施策の完了を目指し、発酵、合成を問わず、安心安全で低廉な安定供給の実現を強力に推し進める。

アルコール事業は、鹿島工場新系列の本格稼働を軌道に乗せ、増強された供給力を有効活用し、グループ営業との連携を密にし、市場の動向に柔軟に対応して更なる安定供給を実現していくとともに、環境負荷低減に貢献する。また、日本合成アルコール株式会社の安定操業及び価格適正化の動きを支援する。

関連事業は、顧客ニーズを吸い上げ、商品力、営業力の強化を図る。

また、新卒採用予定者の確保とグループ人事交流による人材活用を図るとともに、DXを推進し、情報基盤の安定的運用と充実を図り、働きやすい職場づくりに取り組む。

I. アルコール事業

■ 発酵アルコール

- 鹿島工場新系列の本格稼働を軌道に乗せ、増強された供給力を最大限有効活用し、市場の動向に柔軟に対応して更なる安定供給を実現します。
- 鹿島工場新系列の本格稼働にあたっては、環境負荷低減に貢献しつつ、需給バランスとコストを加味した3工場の最適運転に取り組みます。
- お客様からの情報及び要望を理解し、商権の維持、拡大を図るとともに、販売用途拡大のため、酒類製造免許取得について検討を行います。
- 原料在庫の適正化を図るとともに、ウルサン原料基地の効率的運用及び工場への安定回送を、コスト低減を図りつつ確実に実施します。
- FSSC22000について、3工場及び関連部署と協調して、Verアップに対応し、認証維持に取り組みます。

■ 合成アルコール

- ・原料やエネルギー資源の価格の見通しが不透明な中、お客様のニーズを把握して販売数量の維持に努め、合成アルコール市場の維持を図り、日本合成アルコール株式会社の安定操業と価格適正化の動きを支援します。

II . 関連事業

■ 発酵製品

- ・液体肥料はこれまでの事例などをわかりやすくまとめて営業力強化を図り販売数量の拡大に努めます。さらに特殊肥料においては成育試験等によって商品力の強化を図ります。
- ・土壌還元消毒用資材については、重点地区を定めて使用実例を積極的に紹介していくとともに、環境にやさしい商品であることを、全国的に認知向上を図り、拡販に努めます。

■ アルコール製品

- ・手指消毒剤は、購入実績のある顧客をターゲットに営業力を強化し拡販を図ります。

Ⅲ. 技術力の強化

- 鹿島工場系列増強工事で培った経験を活かし、全工場でプロセスエンジニアリングやメンテナンス技術力の向上を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- 計画的な採用、グループでの教育訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともに、グループ人事交流によって人材の活用を図ります。

Ⅴ. DX推進を通じた業務改革

- 情報システム研修等による人材育成を行います。

VI. 安定配当の継続

- 適正な営業利益の確保に努め、安定配当を継続します。

収支計画概要

以上の取り組みにより、令和6年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	37,014
営業利益	420
経常利益	402